

入院のご案内

Kainan Hospital



contents

海南病院について		P.1
入院の前に		P.3
入院生活		P.9
退院の前に		P.13
医療安全		P.14
感染対策		P.17
各種相談		P.18
院内施設案内		P.19



JA 愛知厚生連
海南病院

理念

私たちは医の倫理をしっかりと見据え、質の高い、
安全で安心な医療提供をとおして、
地域を守り、地域から信頼される病院を築きます

基本方針

1. 医の倫理をしっかりと見据え、和を大切に、心ある医療を実践します
2. 患者さんとの信頼関係を築き、理解・納得いただける患者中心の医療をめざします
3. たゆみない研鑽を重ね、質の高い、公正で安全な医療を提供します
4. 地域の基幹病院としての役割を自覚し、医療・福祉の連携体制を確立します
5. 個人情報保護しつつ、病院をより理解していただくため情報開示に努めます
6. 高い専門性と豊かな人間性をもつ医療人を育て、活力ある職場環境を醸成します
7. 地域医療を担い守るため、効率的な病院運営に努め、経営の安定を図ります
8. 医療・保健・福祉活動を基盤とし、健全な地域社会の発展に貢献します

患者さんの権利と責務

1. 良質で安全な医療を受ける権利
2. 医師や医療機関を選択する権利
3. 医療行為を選択し決定する権利
4. 医療上の情報と説明を受ける権利
5. プライバシーが保護される権利
6. 人間としての尊厳を求める権利
7. 医療への参加と協力の責務

こども患者の権利

1. あなたは、ひとりの人間として大切にされます。
2. あなたは、わかりやすい説明を受け、よい医療を受けることができます。
3. あなたは、自分の考えをのべ、医療に参加することができます。
4. あなたは、できるかぎり家族と一緒にすごし、すこやかに育つ支援を受けることができます。

教育病院について

当院は厚生労働省から臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の教育を行っています。臨床研修医は2年間のうちに複数の診療科で頻度の高い病気や外傷について診断治療を経験し、将来の専攻科にかかわらず必要とされる幅広い領域の臨床能力を習得します。臨床研修医は医療チームの一員として診療に参加します。

また当院は、多くの大学医学部、医療職養成学校、救急隊、看護師特定行為研修の実習病院にも指定され、多くの学生が実習に訪れています。学生は指導者の監督指導のもと、患者さんの承諾をいただき、公的に許容されている範囲内で医療に参加します。

実習生は皆さまや将来世代の健康を担う貴重な人材です。当院は医療人育成も重要な社会使命と考えて、教育病院としての役割を果たして参ります。臨床研修や学生実習につぎまして、地域の皆さまのご理解とご協力、ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

患者さんのための入退院支援の流れ

当院では、患者さんが安心して医療を受けられるよう、入院前から入院中、退院後を含め一貫した支援を実現するため、入退院支援システムを採り入れています。

入院前 (入院予約時・入院日)

入院が決定しましたら、外来より**入院支援センター**へご案内します。看護師が個別に面談をし、入院に必要な事柄の説明や確認をさせていただきますので、入院予約時・入院日から必要な調整を進めることができます。入院に際して、心配事・ご不明な点がありましたらご相談ください。

入院中

入院中にお困りの事がありましたら、お気軽に病棟スタッフにお申し出ください。

退院についてのご心配、社会保障制度のご利用など必要に応じて院内の専門相談窓口にお繋ぎいたします。

退院に向けて

入院中の患者さんが退院後も引き続き安心して生活できるように専門のスタッフ(医療ソーシャルワーカーや退院コーディネーター)を配置し、地域の保健・医療・福祉・介護・行政サービスとも連携をとりながら**退院支援部門**がお手伝いいたします。

海南病院 シンボルマークの由来



海南病院のシンボルマークは、木曽三川、ハト、四つ葉のクローバーで構成されています。木曽三川の清流にはぐくまれた海部弥富の地に、やさしさと平和の象徴のハトが、安心と幸せ(クローバー)を運んできます。

海南病院は、地域の皆さまに安心でやさしい「心ある医療」を提供する・・・という意味が込められています。

入院の前に

予約入院の方へ

月 日 () 時 分に、

☐ 入院支援センター

☐ 入院される科の外来窓口 へお越しください

☐ その他 ()

- 地域および病院内の感染症発生状況によっては、外出・外泊・面会を制限させていただきます。
- 当院駐車場は有料駐車場となっています。入院患者さんの駐車はお断りしています。
入院当日は、送迎や公共交通機関、タクシーにてお越しいただくようお願いいたします。
- 事情により入院日時の変更や取り消しを希望される場合および入院に関するお問い合わせは、入院支援センターにご連絡ください。
TEL (0567) 65-2511 (代表) 受付時間8:30~16:00
- 個人情報保護の観点から、許可のない撮影・録音、またそれらの行為で得た写真・動画・音声情報のSNS等へのアップロード(公開)は固く禁じます。
- 職員へのお心付けは、固くお断りいたします。

*入院中の他院での診療・投薬について

- 原則として、当院入院中に他院での診療や投薬を受けることはできません。
家族の方が薬を受け取りに行くこともできません。
- 入院中に当院以外の病院・医院へ受診(薬のみも含む)を希望される場合は必ず主治医・看護師へご相談ください。
- 主治医が、「当院ではできない専門的な診療や治療等が必要」と判断した場合は他院へ紹介をさせていただきます。

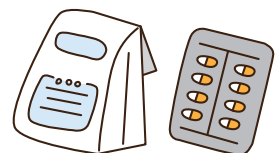


*入院中の他科受診について

当院の入院保険診療は、医療資源を最も投与した一つの疾患(診断群分類)に対しての診療を前提とした包括支払制度(DPC)を採用しています。他科の外来受診については、入院目的の疾患に関連する場合や緊急性がある場合、外来予約がすでにある場合などを除き、退院後にかかりつけ医もしくは近隣クリニック等に受診していただくようご協力をお願いしております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

*薬の確認について

- 服用中の薬やお薬手帳などは看護師にお渡しください。
薬剤師が重複投与や相互作用がないかどうか薬の内容を確認いたします。
場合によっては、ご持参いただいた薬を入院後も継続して使用させていただきますことがあります。



所持品は、お名前を記入の上お持ちください。

入院に際して準備いただくもの チェックリスト

入院手続きに必要なもの

- ☐ 診察券
- ☐ 保険証(医療・介護)
- ☐ 限度額適用認定証(お持ちの方)
- ☐ 福祉医療費受給者証(子ども、障害者、難病医療の方)
- ☐ 組合員等利用券(お持ちの方)
- ☐ 入院のご案内(本冊子)

<提出書類>

- ☐ 入院申込書
- ☐ 緊急連絡先
- ☐ 寝具借用書
- ☐ 同意書
(手術、検査を受けられる方)
- ☐ 入院前健康チェック票

入院生活に必要なもの

CSセットに準備があるもの

- ☐ 寝衣
- ☐ 洗面用具
(歯ブラシ、歯みがき粉、入歯ケース、
入歯洗浄剤、口腔スポンジ、ヘアブラシ)
- ☐ バスタオル・フェイスタオル
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ コップ(割れないもの)

CSセットに準備がないもの

- ☐ 下着類・くつ下
- ☐ すべりにくい履き物(履きなれた靴)
スリッパ・サンダルは、転倒予防の
ため禁止しています。
- ☐ マスク(不織布推奨)
- ☐ ゴミ箱またはゴミ袋
- ☐ 洗濯物を入れる袋



必要(該当)の方の準備品

CSセットに準備があるもの

- ☐ おむつ、尿とりパッド、おしりふき
- ☐ イヤホン(テレビ視聴用)
- ☐ 食事用エプロン
- ☐ 吸い飲み
- ☐ うがい受け
- ☐ 入浴用具
(リンシンシャンプー・ボディソープ)
- ☐ 転倒予防シューズ(オプション)



CSセットに準備がないもの

- ☐ 電気カミソリ
- ☐ 洗濯用洗剤
- ☐ 現在服用中の薬・お薬手帳・薬剤情報提供書
- ☐ 健康食品やサプリメントなど、毎日飲んでいるもの
- ☐ その他入院の際に準備してくるよう説明を受けているもの

- 入院中に必要な衣類・日用品・オムツのレンタルがあります(CSセット)。
CSセットをご希望の方は差し込みのチラシをご覧ください。
- 日用品等はショップ(売店)で販売しています。
- ノートパソコン・CDプレーヤー・ポータブルDVDプレーヤー・タブレット端末・スマートフォン・持ち込みラジオなどを使用される場合は、他の患者さんの迷惑とならないよう、マナーを守ってご使用ください。音の出る機器については、個室以外の方は必ずイヤホンを使用してください。また消灯時間後の使用はお控えください。
- 入歯・補聴器・眼鏡、ノートパソコンなど持ち込まれた物に関する破損、紛失につきましては、当院は責任を負いかねますので、各自で管理を徹底してください。

■持ち込みできないもの

- 危険物【刃物類(果物ナイフ、はさみ、剃刀)、ライターなど】
- 嗜好品(酒・たばこ)
- 電気ストーブ・電気あんか・電気ポット・加湿器・空気清浄機・扇風機・ドライヤーなどは、防災上また衛生管理上の問題があるため、持ち込みは禁止しています。また、テレビ・ラジオ(一部放送局に限る)・冷蔵庫は、病室に設置されていますので、そちらをご利用ください。なお、テレビ・冷蔵庫の利用にはテレビカードが必要です(特室は除く)。



*入院までのお願い

- 手足の爪は短く切り、ネイルは除去しておいてください。
指に装着する酸素飽和度モニターでの酸素飽和度測定ができない、爪の色調の変化がわからないなど、医療行為の妨げになります。
- 指輪、ピアス類は入院までに外しておいてください。
- 治療にあたり中止するお薬がある場合は忘れないようにしてください。
- 入院当日の絶飲食がある場合は、忘れないようにしてください。
- 禁煙してください。
喫煙は、治療の阻害要因となり、回復を遅らせたり、手術中・手術後に危険な状態を引き起こす可能性があります。
- アルコールを控えてください。
毎日飲酒している人は、手術後等に、せん妄を発症しやすくなります。
飲酒量を急激に減らすと、発熱、血圧の異常、不整脈等があることがあるため、徐々に減らしておく必要があります。また、入院中のお酒の持ち込みや飲酒も固くお断りします。

*入院費用について

■支払期日

- 入院治療費はひと月ごとにかかった医療費を計算します。
- 入院治療費は、毎月月初めおよび退院時に入院請求書をお渡しいたしますので、その都度、お支払いください(緊急退院等、退院時にお渡しできない場合は、後日連絡いたします)。
- 退院前に入院治療費の概算をお知りになりたい方は、病棟事務員までお尋ねください。

■支払場所 (P19-20の院内施設案内、フロアマップをご参照ください。)

- お支払いは、診療棟1階の「自動精算機」または「3 会計」にてお願いいたします。現金、クレジットカードでのお支払いが可能です。
- 時間外および休日のお支払いは、「4 文書・時間外受付」にて承ります。

■その他

- 毎月保険情報の確認を行っております。マイナンバーカード(マイナ保険証)は診療棟1階の「1 中央受付」、従来の健康保険証は「1 中央受付」もしくは病棟スタッフまでご提示ください。
- 当院は、DPC(包括支払制度)/PDPS(診断群分類に基づく1日あたり定額報酬算定方式)を導入しています。不明な点は事務員より説明させていただきますので、病棟スタッフまでお尋ねください。

*入院時食事療養費の自己負担額について

入院時食事療養費の自己負担額とは

区分に応じて、1食当たりの金額が定められています（下表参照）。

②または③については、あらかじめ保険者より標準負担額減額認定証の交付を受け、医療機関窓口への提示が必要となります。

区分	1食当たりの金額
①一般	490円
②住民税非課税世帯 (過去1年間の入院期間が90日以上※1)	230円
③ ②の内、所得が一定の基準に満たない70歳以上	110円

※1 入院日数90日を超えた時点で、保険者より標準負担額減額認定証の交付を受ける必要があります。
ご不明な点は、事務員より説明させていただきますので、病棟スタッフまでお尋ねください。

*限度額適用認定制度について

限度額適用認定証は、交付までに時間がかかる場合がありますので、入院前にお早めに手続きをお願いいたします。

■高額療養費制度

- ひと月に医療機関に支払った額が高額になった場合に、定められた上限額を超えて支払われた額を払い戻す制度です。上限額は個人や世帯の所得に応じて定められています。払い戻されるとはいえ、一時的な支払いは大きな負担となりますので限度額適用認定制度の利用をお勧めいたします。

※月をまたいで合算することはできません。

※入院時食事療養費の標準負担額、文書料、差額室料などは高額療養費に含まれません。

※医療費の計算は入院・外来それぞれでの取り扱いとなるため、合算して高額療養費を計算することはできません。

■限度額適用認定制度

- 医療機関での支払額を、自己負担限度額までの支払いにすることが可能です。申請方法は次の通りです。

①病院にてオンラインで確認する場合

当院では患者さんの同意により、健康保険証の記号番号、もしくはマイナンバーカードのICチップによりオンライン上で医療保険の資格情報を確認することが可能です（同意されない場合は、保険者にご自身にて申請してください）。オンラインで確認の場合、保険者に限度額適用認定証の申請をしていただくなくても、情報が得られるようになり、自己負担限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなります（窓口へ限度額適用認定証を提示していただく必要はありません）。

※オンライン資格確認未導入の病院・診療所・薬局では限度額適用認定証の申請、提示が必要になります。

※自衛官の方については、オンライン資格確認の対象外ですので、保険者への申請が必要です。

②保険者に申請する場合

保険証の種類によって申請・発行場所が異なります。加入している保険者より限度額適用認定証の交付を受けましたら、「1 中央受付」までご提示ください。

■自己負担上限額の基準

自己負担限度額（ひと月）は所得に応じて以下の通りに計算されます。

■70歳未満の方

適用区分	標準報酬月額	自己負担限度額	多数該当 (※1)
区分ア	83万円以上	252,600円 + (医療費(※2) - 842,000円) × 1%	140,100円
区分イ	53万～79万円	167,400円 + (医療費(※2) - 558,000円) × 1%	93,000円
区分ウ	28万～50万円	80,100円 + (医療費(※2) - 267,000円) × 1%	44,400円
区分エ	26万円以下	57,600円	44,400円
区分オ	住民税の非課税者等	35,400円	24,600円

■70歳以上の方

適用区分		自己負担割合		自己負担限度額	多数該当 (※1)
		70～74歳	75歳以上		
現役 並み	Ⅲ 課税所得 (※3) 690万円以上の方	3割	3割	252,600円 + (医療費(※2) - 842,000円) × 1%	140,100円
	Ⅱ 課税所得 380万円以上の方	3割	3割	167,400円 + (医療費(※2) - 558,000円) × 1%	93,000円
	Ⅰ 課税所得 145万円以上の方	3割	3割	80,100円 + (医療費(※2) - 267,000円) × 1%	44,400円
一般 (※3)	一定以上所得のある方 (75歳以上)		2割	57,600円	44,400円
	一般所得者の方 (75歳以上)		1割		
	課税所得 145万円未満の方 (70～74歳)	2割			
住民税 非課税 世帯	Ⅱ 住民税非課税世帯	2割	1割	24,600円	
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	2割	1割	15,000円	

※1 直近1年間に高額療養費の該当が3回以上あった場合、4回目から「多数該当」に該当します。該当の可否については、保険者にお問い合わせください。該当する場合、「1 中央受付」または病棟スタッフに必ずお申し出ください。

※2 自己負担上限額は医科・歯科別々に計算されます。

※3 現役並みⅢと一般の方は、事前の手続きは必要ありません。

* 室料差額

特室Ⅰ



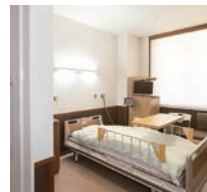
- 16,500円/日
- トイレ・バス・洗面
- 4～6階 A病棟

特室Ⅱ



- 8,800円/日
- トイレ・バス・洗面
- 5～6階 B病棟

特室Ⅱ



- 8,800円/日
- トイレ・シャワー・洗面
- 4階 B病棟／5階 C病棟

個室



- 5,500円/日
- トイレ・洗面
- 全病棟

2人室



- 3,300円/日
- トイレ・洗面
- A・B病棟

特室Ⅰ

4階A病棟	1室
5階A病棟	1室
6階A病棟	1室

特室Ⅱ

4階B病棟	1室
5階B病棟	1室
5階C病棟	2室
6階B病棟	1室

個室

3階A病棟	15室
3階B病棟	4室
4階A病棟	11室
4階B病棟	10室
5階A病棟	11室
5階B病棟	11室
5階C病棟	6室
6階A病棟	11室
6階B病棟	11室
6階C病棟	2室

2人室

3階A病棟	7室
3階B病棟	1室
4階A病棟	1室
4階B病棟	1室
5階A病棟	1室
5階B病棟	1室
6階A病棟	1室
6階B病棟	1室

3階A・B病棟および6階C病棟に特室、5階C病棟および6階C病棟に2人室はありません。

緩和ケア病棟の室料差額はありません。

- 病室の事前予約はできません。
- 個室を希望されていても病状や治療に応じ、または他の患者さんの状態により、病棟・病室を移動していただくことがありますので、ご協力をお願いいたします。
※個室から大部屋に移動していただく場合があります。
- 室料差額は入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日分として計算します。
(例: 2泊3日は3日分の室料差額が発生します)
- 3階B病棟は、個室4室のうちトイレ・洗面なしの個室(室料差額3,300円)が1室あります。
- JA正准組合員の方は組合員等利用券を、診療棟1階の「1 中央受付」または病棟スタッフにご提示ください(愛知県内のJAのみ対象)。後日、加入しているJAより室料差額(税抜価格)の10%の金額が口座に振り込まれます。

入院生活

- 入院案内放送(無料)を案内チャンネルで放映しています。早い時期にご覧いただくことをお勧めいたします。
- 当院は、入院患者さんの療養生活をより安心・安全で円滑にするため、病室の各床頭台にタブレット端末を設置し、ピクトグラムシステムを導入しています(一部除外病棟あり)。ピクトグラムとは、一種の絵文字のことで、伝えたい内容を単純な絵や図記号で表現し、タブレット端末上で患者さんの状態、入院中のスケジュールや担当医師・看護師名、病院からのお知らせなどを表示しています。



*起床について

■起床時間 6:00

- 早く目覚めた方も6時までは他の患者さんの安眠のため、お静かにお願いいたします。

*食事について

■食事時間 朝食7:30以降、昼食12:00以降、夕食18:00以降 (食事時間は前後することがあります。)



- 毎食A・Bの2種類のメニューより選んでいただける選択メニューを導入しています。治療上、選択できない場合があります。
- 治療食を指示された方は、病院食以外の飲食をする場合、主治医の許可が必要です。
- 安静度に制限のない方は、食堂・デイルームをご利用ください。
- 食堂に電子レンジを設置しておりますのでご利用ください。
- お湯の提供はしていません。

*入浴について

■利用時間 平日 9:00~12:00 13:00~17:00

- 入浴・シャワーに関しては主治医の許可が必要です。浴室の利用方法などにつきましては、看護師にお尋ねください。

*清拭・着替えについて

- 体拭き用のタオルは土・日・祝日以外毎日お配りします。
点滴などで着替えができない場合は、お手伝いします。
- 土・日・祝日は患者さんの状況に合わせて体拭きを行います。
- おむつを着用している患者さんは毎日陰部清拭を行います。
- 着替えは持参していただいた寝衣の数に合わせて行います。
CSセットをお申し込みの方は1日おきとなります。

*洗濯について

■利用時間 6:00~21:00

- 各病棟に洗濯室がありますのでご利用ください。洗剤は各自ご用意ください。洗濯機・乾燥機はテレビカードでご利用いただけます。

*病院のテレビ・冷蔵庫について

- 病室の床頭台にはカード式テレビ・冷蔵庫が備え付けてありますのでご利用ください(冷凍庫はありません)。
- 特室をご利用の患者さんは、テレビ・冷蔵庫が無料でご利用いただけます。

*テレビカードについて

- テレビカードの販売機は、診療棟1階警備室・防災センター前、AB病棟：3~6階食堂入口、C病棟：4~6階電話コーナーに設置されています。残額はカード精算機にて払い戻すことができます。カード精算機は、診療棟1階警備室・防災センター前に設置されています。
- 両替は業者がお部屋まで伺いますので、病棟スタッフにお申し出ください(平日9:00~16:30)。
- 個室以外でテレビを視聴される場合は、必ずイヤホンをご利用ください。イヤホンはショップ(売店)にて販売しています。
- テレビカードは1枚1,000円で購入できます。



利用料金…テレビ:70円/1時間

冷蔵庫:200円/24時間

洗濯・乾燥:洗濯200円/回 乾燥200円/60分 洗濯乾燥400円/回

*消灯について

■消灯時間 22:00

- 21時に廊下の消灯をさせていただきます。22時になりましたら室内灯、テレビ、ラジオ、電子機器等を消して静かにおやすみください。
- 必要時、枕灯をご利用ください。なお看護師が枕灯を点ける場合がありますので、ご了承ください。

*面会について

■ **面会時間** 地域および病院内の感染症発生状況によっては面会を制限させていただく場合があります。

面会時間	14:00～17:00(平日・休日問わず)
1日の面会人数	2名以内
1回の面会時間	15分以内
面会不可	体調の優れない方、マスクができない方(幼児含む)

※面会開始の14時頃は非常に混み合うため時間をずらしての来院にご協力ください。

※面会時に乳幼児等が同行せざるを得ない場合は、あらかじめ医師・看護師にご相談ください。

- ICU(集中治療センター)の面会時間は上記と異なりますので、ご注意ください。
- 患者さんの治療・安静のため、家族の方であっても面会時間はお守りください。ただし、付き添いの方はこの限りではありません。
- 患者さんの状態や診療、看護の都合により面会をお待ちいただいたり、ご遠慮いただくことがあります。
- 感染防止のために、ペット同伴での面会のご遠慮ください。
- 下痢・嘔吐・発熱・激しい咳などの症状がある方、もしくはインフルエンザ、感染性胃腸炎などの流行性感染症と診断された方は面会をご遠慮ください。

■面会案内

- 面会者に対する病室案内や入院されていることの案内を望まれない場合は、「入院申込書」にその旨をご記入ください。なお、申し込み後に変更される場合は看護師にお申し出ください。
- 面会の際は、同室の方の迷惑とならないように各階の食堂・ダイニングもしくは、談話コーナーをご利用ください。
- 治療の関係で、面会者の制限や生花の持ち込みをご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。
- プライバシー保護のため、病室出入口に氏名の表示はしていません。

■面会手続き・面会証について

- 付き添い・面会の方は、面会受付にて「病棟立入確認票」を記載していただき、面会証(緑色のストラップ)を受け取ってください。
- 面会終了後に面会証を面会受付までご返却ください。



*禁酒・禁煙について

- 酒等のアルコール類(ノンアルコール飲料等を含む)やたばこ・ライターの持ち込みを禁止しております。
- 当院は、国より指定を受けたがん診療連携拠点病院の責務として、敷地内全面禁煙(電子たばこ含む)としています。

*盗難予防について

- 現金のお持ち込みは必要最低限にさせていただき、現金を含む貴重品は、床頭台の鍵付きの引出しを必ずご使用ください。また、引出しの鍵は常に身につけていただくようお願いいたします。
- 貴重品、未使用のテレビカードの放置など、盗難・紛失には十分にご注意ください。

*災害時の対応について

- AB病棟は病床備え付けのパンフレット、C病棟は各病室出入口にて非常口、非常階段のご確認をお願いいたします。
- 非常時や災害時は、職員の指示に従ってください。

*声の箱について

- 皆さまの声を幅広くお聞きするために「声の箱」を食堂・デイルームに設置しています(救急病棟・緩和ケア病棟は出入口付近に設置しています)。お気づきのことがありましたら、備え付けの用紙にご記入いただき投函してください。
- お寄せいただいたご意見に対する回答は、診療棟1階警備室・防災センターの向かいに掲示しています。

*暴言・暴力・迷惑行為の禁止

- 飲酒、喫煙、無断外出・外泊、賭けごと、暴言、暴力、ハラスメントなどで他の患者さんの迷惑となる場合、または診療行為に支障をきたす行為があった場合は退院していただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

*携帯電話等のご使用について

- 院内では「マナーモード」に設定してください。
- 大声での通話をご遠慮ください。また病室(個室を除く)での通話はお控えください。
- 22時～7時の間は談話コーナーでの通話はお控えください。
- 以下の場所での使用は、医療機器に影響を与える恐れがありますので、携帯電話等の電源を必ずOFFにしてください。

救命救急センター、ICU(集中治療センター)、血液浄化センター、手術センター、NICU(新生児集中治療室)

*無料Wi-Fiについて

- Wi-Fiに対応した端末(スマートフォン・タブレット・パソコン等)をお持ちの方は病棟・病室(救急病棟・ICU・NICU・GCUを除く)にてご利用いただけます。
- 利用可能時間は6～22時です。利用方法は病室に設置してあります利用案内をご覧ください。

*マスク販売機について

- 正面玄関 風除室内と1階C病棟エレベータ前に「マスク販売機」を設置しております。

*入院中の各種お問い合わせについて

内 容	お問い合わせ先・お申し出先
1. 治療・看護にご不明な点がある場合	主治医または看護師
2. 診断書が必要な場合	主治医または文書受付
3. 外出・外泊をご希望の場合	主治医または看護師
4. 「院内学級」の利用をご希望の場合	主治医または看護師
5. セカンドオピニオンのお問い合わせ	主治医

医師による病状説明については原則8:30~17:00とさせていただきます。
電話でのお問い合わせにはお答えいたしかねます。

*その他

- 病院の建物、備品は病院を利用されるすべての方のためのものですので、大切にご使用ください(室内および器具、備品等を破損された時は、相当代価の弁償を請求することがあります)。
- 原則、入院での付き添いは必要ありませんが、ご家族の協力を求める場合がありますのでご了承ください。未就学児はこの限りではありません(付き添いの方の布団貸し出しは、270円/1泊となっています)。

Kainan Hospital

退 院 の 前 に

- 当院は、常時緊急入院ベッドを確保する必要がありますので、患者さんには早期退院への協力をお願いしています。なお、退院後の療養に関しては、専門のスタッフが相談を承っています。
- 退院時間は午前10時までとしていますのでご協力ください。治療上の必要がある場合は、この限りではありません。
- 医療保険申請等に必要な入院証明書等は、診療棟1階の「4 文書・時間外受付」(受付時間:平日8:30~16:30)にて承ります。入院中でも書類の作成は可能ですが、2週間ほどお時間をいただいています。なお書類をご依頼後の証明期間等の追記については、お受けできません。
ご依頼いただいた内容以外の証明につきましては、別途費用が発生しますので、ご理解いただいた上でお申し込みをお願いします。退院までの証明が必要な方につきましては、退院日が確定したあとにご申請ください。
- 海南病院ホームページにて書類の出来上がり確認が行えます。詳細は「4 文書・時間外受付」までお問い合わせください。

*医療安全の取り組みについて

- 医療事故を防止するためには、患者さん・ご家族の協力が欠かせません。皆さまに医療安全に参加いただき、パートナーシップの強化を図ることが安全の第一歩と考えています。入院時にお渡ししております「ともにつくる医療の安全」を必ずお読みいただくようお願いいたします。



- 入院中の当院で受けた医療行為（投薬・注射・検査・治療）、医療安全に関し気づいたこと、アイデアがありましたら巻末の「医療安全提案メモ」にてお寄せください。
- ご記入いただいた「医療安全提案メモ」は、食堂・デイルームに設置してある「声の箱」に投函してください。

■患者さん・ご家族もご自身で確認を

- 各種書類を渡された時、注射や検査が実施される時などに、ご自身の氏名記載の有無、実施されるのは何かなど、まずご自身で確認してくださいませようお願いいたします。

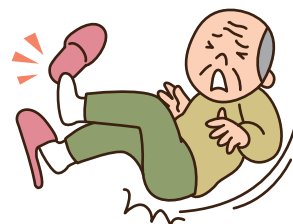


■患者間違いを防ぐために

- 当院では、本人確認のために、氏名・生年月日をお伺いしています。また、入院されましたら、ネームバンドを装着していただき、手術、検査、注射、処置を行う時には、ネームバンドで本人確認をさせていただきます。注射、採血、輸血実施時には、このネームバンドのバーコードを読み取ることで、患者間違いや薬剤間違いを防止しています。

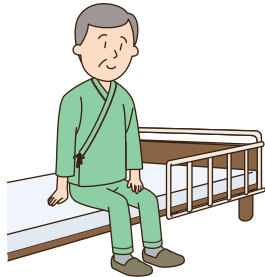
■転倒・転落事故防止のために

- 病院での入院環境は、住みなれた家庭とは異なります。環境の変化に加え、病気やケガによる体力や運動機能の低下などにより、思いがけない転倒やベッド等からの転落の危険性があります。転倒・転落により入院期間が延長することは、患者さんにとってつらいことです。必要に応じてベッドの工夫、ベッド柵の使用、離床センサー装着などの危険防止対策をとらせていただくことがあります。また、履き物はすべりにくい履き物をご準備いただき、スリッパ、サンダルはおやめください。転倒・転落の危険性についてご理解いただき、転倒・転落防止にご協力をお願いいたします。



*転倒を予防するために

ベッドの使い方



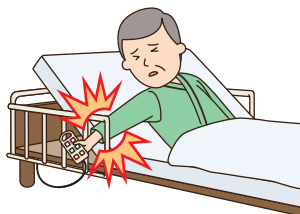
起き上がったらずに動かず、ひと息ついてから動きましょう



ベッドの上に立たないでください

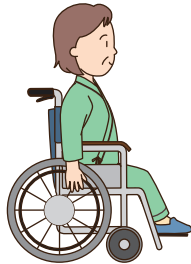


ベッドの横に体を挟まないよう注意してください

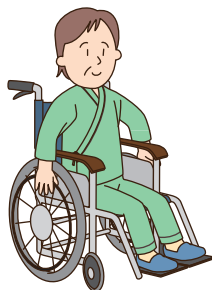


ベッドのリモコンを操作する際には、体が挟まれないよう注意してください

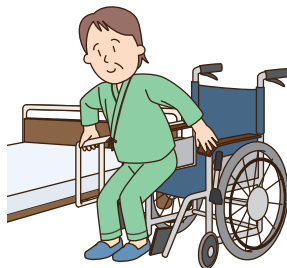
車椅子の使い方



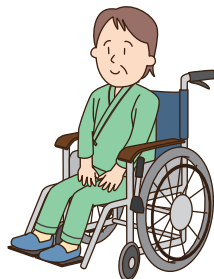
動く時は足台に足を乗せましょう



深く座りましょう



足台を上げて乗り降りしてください

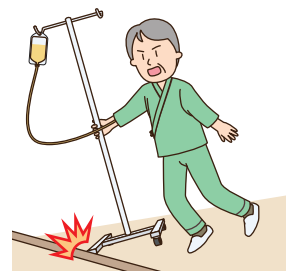


動かないときはブレーキをかけてください

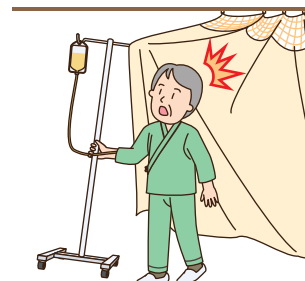
はきものや、点滴のときに気を付けること



スリッパは危険
履きなれた靴、かかとのある靴をはきましょう



段差・障害物に注意してください



カーテンのひっかかりに注意してください



オーバートーブルなどの動く物にはよりかからないでください

安全に過ごしていただくために、患者さんご家族の協力が必要です。
付き添いの方が帰宅される時は、必ずお知らせください。
※一人で動くのが難しい場合は、遠慮なく看護師をお呼びください。

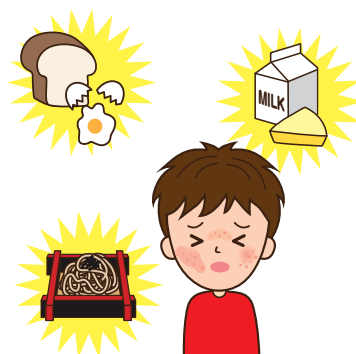
■安心して治療を受けていただくために

- 入院・退院時および治療・検査などを行う場合、医師が病状やその治療・検査の必要性・効果・危険性などについて説明いたします。ご理解・納得いただいた後、必要な用紙に署名いただくことがあります。説明を受ける場合は、できれば患者さんお一人ではなく、ご家族の方と一緒に聞きいただくことをお勧めいたします。また説明を希望する日時を主治医もしくは看護師にご連絡ください。説明日時の調整をさせていただきます。



■アレルギーや禁忌の食材・薬剤について

- 下記のように、食材や治療薬について制限のある方は主治医または看護師へお知らせください。
 1. 食物アレルギーにより食べてはいけない食材がある。
 2. 医師から治療上、制限するよう言われている食べ物(塩分の多い食材・納豆など)がある。
 3. 宗教上の理由で、使用を希望しない食材、薬剤、医療材料がある。また、希望しない治療行為(輸血など)がある。



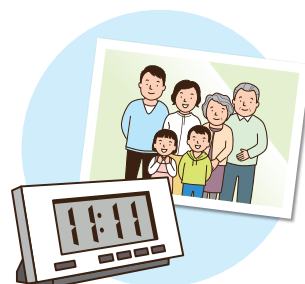
■入院中に不安なことや相談があれば

- 入院中に「治療や職員に関して疑問や不安なことがあり、相談したい」ということがありましたら、病棟看護課長にご相談ください。相談内容により総合相談センター窓口にて、医療ソーシャルワーカー、看護師、事務員等、メディエーションスキルを持った専門職員が対応いたします。
- 当院は、患者さん側と医療者側の話を聞く役割を担う中立的な第三者として医療メディエーター（医療対話推進者）を配置しており、必要時に介在しています。



■認知症・せん妄予防対策の取り組み

- 当院では病院全体でせん妄対策に取り組んでいます。すべての入院患者さんに、せん妄評価を実施し評価内容に基づいてせん妄予防対策・安全対策を実施しています。
せん妄とは、病気の悪化や入院に伴う環境変化により、急激に認知機能が低下してしまう状態です。せん妄は、高齢者・認知症のある方、重度の病気や手術で入院する方によく起きます。せん妄は一度起きてしまうと病気の回復を遅らせるだけでなく、入院期間の延長や足腰の弱りなどにもつながるため早期から予防することが重要です。
医師や認知症看護認定看護師、薬剤師など多職種で構成された認知症・せん妄サポートチームが、早期から薬剤調整や病棟スタッフとともに患者さんの療養環境を整えています。
せん妄発症の予防として、入院の際は時計やカレンダー、眼鏡、補聴器、家族の写真などご本人さんにとって馴染みのある物をお持ちください。



感染対策

*感染対策について

- 医療従事者は院内の感染防止マニュアルに従って医療行為をしています。病棟内にはいろいろな病原菌をもった患者さんが入院されています。重症患者さんや抵抗力の弱い患者さんは感染しやすい状態になっているため、下記の点についてご協力をお願いいたします。

■手洗い・手指消毒について

- 感染予防のため、病室への入退室の際は、病室前に備え付けの手指消毒薬の使用、あるいは洗面所での手洗いにご協力をお願いいたします。面会の方にも、同様の手指消毒にご協力いただいています。



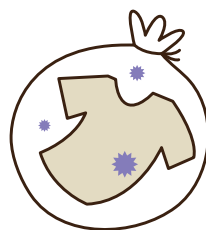
■マスクの着用について

- 当院では院内に入るすべての方にマスクの着用をお願いしています。(ユニバーサルマスクング)
- マスクは鼻からあごまでしっかり覆うよう正しく着用してください。
- マスクを持っていない場合は、マスク販売機にて購入をお願いさせていただきます。
- 咳やくしゃみをした(痰や鼻汁に触れた)後には、手を洗ってください。



■洗濯について

- 感染防止のため、一次洗いはしていません。ご使用になられた衣類などは、極力すみやかに持ちかえりいただき洗濯してください。



■部屋移動について

- 感染対策を行う上で主治医等が必要と判断した場合、部屋の移動および個室管理とさせていただくことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

■面会制限について

- 地域および病院内の感染症発生状況によっては面会を制限させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

総合相談センター

ある日突然の事故や病気 そして長い療養生活 あなたや家族が、今、困っていることはありませんか？

例えば…

- ・医療費について
- ・健康保険、年金について
- ・収入が無くて困っている
- ・介護保険制度について
- ・転院先を探したい
- ・在宅介護の準備をしたい
- ・ベッドなどの介護用品について
- ・施設を探したい
- ・退院後の社会復帰について
- ・不安な思いを聞いて欲しい
- ・治療を受けているけど心配な事がある
- ・これからどうして良いかわからない
- ・緩和ケアのことが知りたい
- ・かかりつけ医を探したい

など…

医療福祉相談課

医療ソーシャルワーカーが通院、入院、退院後の様々な相談に対応しています

入退院支援課

入院から退院まで安心して療養生活を送れるように様々な専門職が支援しています

弥富市地域包括支援センター

弥富市より高齢者の総合相談を受託しています

がん相談支援センター

地域がん診療連携拠点病院として、がん相談を行っています

地域医療連携センター

紹介予約や他の医療機関との連携窓口を行っています
「海南SUN-senネット(医療情報公開システム)」は包括同意とさせていただきます。
希望されない方は当センターにお申し出ください

居宅介護支援事業所

ケアマネジャーが在宅での介護生活を支援しています

■相談時間 平日 8:30~17:00

予約
優先

■場所 診療棟1階(外来A受付の向かい側)

■相談内容に応じて医療ソーシャルワーカーや退院コーディネーター、ケアマネジャーなどが対応いたします。予約をお取りできますので、病棟スタッフにお申し出いただくか、ご連絡ください。相談は個室で行います。お気軽にお声かけください。

院内施設案内

洗濯室



■ 利用可能時間
6:00～21:00

各病棟

病棟食堂・デイルーム



■ 利用可能時間
7:00～21:00



自動販売機

各フロア

入院時必要物品販売機



■ 利用可能時間
24時間可能

診療棟
1階

会計(自動精算機)



■ 取扱時間
平日 8:30～16:00

診療棟
1階

3 会計(窓口)



■ 取扱時間
平日 8:30～16:30
時間外および休日は、
「4 文書・時間外受付」にて
取り扱っています

診療棟
1階

ATM



■ 取扱時間
JA ATM
平日 8:45～20:00
土日祝 9:00～19:00
イオン銀行ATM
ショップに準ずる

教育研修棟
1階

レストラン



■ 営業時間
平日 8:00～15:00
年末年始(12/30-1/3)は
お休みです

教育研修棟
1階

ショップ(売店)・介護用品



■ 営業時間
平日 7:00～19:00
土日祝 8:00～18:00
年末年始(12/30-1/3)
8:30～17:30

▲介護用品相談窓口

教育研修棟
1階

院内学級(ひまわり学級)



■ 対象
小学生
長期入院が必要な小学生の
ために病院内に設置された
学級です

※レストラン・ショップ等の営業時間が変更になっている場合がございますので、ご確認の上、ご利用ください。

フロアマップ

1階



2階



教育研修棟

AB棟



フロアガイド

屋上	ヘリポート	■ 連絡通路	
7			
6	6C病棟(血液内科/老年内科/ 耳鼻いんこう科/歯科口腔外科/ 総合内科/膠原病内科)	6A病棟(呼吸器内科) 6B病棟(循環器内科/ 心血管外科)	
5	5C病棟(腎臓内科/皮膚科/形成外科/ 泌尿器科)	5A病棟(外科/乳腺・内分泌外科) 5B病棟(消化器内科/腫瘍内科)	
4	緩和ケア病棟、リハビリテーション	4A病棟(脳神経内科/脳神経外科) 4B病棟(整形外科)	
3	事務室、 管理部門	3A病棟(産婦人科/眼科) 3B病棟(小児科/糖尿病・内分泌内科)・NICU	講堂、会議室2
2	健康管理センター	手術センター、 集中治療センター(ICU)	
1	F放射線受付1、 放射線撮影室 (MRI・CT・一般撮影)、 結石破砕室、 G受付(内視鏡センター、 回復支援室)	放射線診療科(ライナック)、 E放射線受付2、 放射線撮影室(MRI・CT・一般撮影・ 乳腺・血管撮影室・ 骨密度測定・透視・ アイソトープ)、 栄養管理室、入院支援センター、 紹介予約受付	ショップ(売店)、 レストラン、ATM、 介護用品相談窓口
地下	薬剤部		E病棟 (感染症病棟)、 精神科デイケア
	▲ 管理棟	▲ 診療棟	▲ AB棟
			▲ 教育研修棟
			▲ E棟



交通のご案内



電車でお越しの場合

名古屋駅	近鉄急行 約15分	近鉄 弥富駅	徒歩 約10分	海南病院
	JR関西本線 約20分	JR・名鉄 弥富駅	徒歩 約12分	
近鉄桑名駅 桑名駅	近鉄急行 約7分	近鉄 弥富駅	徒歩 約10分	海南病院
	JR関西本線 約7分	JR・名鉄 弥富駅	徒歩 約12分	



バスでお越しの場合

弥富市コミュニティバス(きんちゃんバス)「海南病院」
木曾岬町自主運行バス「海南病院」
愛西市巡回バス「海南病院」



車でお越しの場合

東名阪自動車道弥富ICより約10分
伊勢湾岸自動車道湾岸弥富ICより約20分



駐車場

当院の駐車場は有料駐車場となっています。
入院患者さんの駐車はお断りしています。

■駐車場の利用料金

一般の方	30分220円(終日)	■駐車券提示窓口 — 入院支援センター／警備室・防災センター 中央受付／時間外受付／総合案内 各科外来受診時:各受付(A・B・H・J)／総合案内 救命救急センター受診時:総合案内／時間外受付
お見舞い・付き添いの方	3時間まで100円、以降60分100円、駐車後24時間最大500円	
外来患者さん	8時間100円、以降60分100円	

- ・正面駐車場は、障害・高齢・妊娠・ケガ・病気などで歩行が困難な方のために、おゆずりくださいますようご協力をお願いいたします。
- ・お見舞い、付き添いの方は、できる限り第1～第8駐車場をご利用ください。

JA愛知厚生連 海南病院

〒498-8502 愛知県弥富市前ヶ須町南本田396番地
TEL:0567-65-2511 FAX:0567-67-3697



病院ホームページ